

席題「消す」 五十嵐千楽選

消しゴムで消せぬ古傷悔やむ日々	乃り子
消しゴム使わぬ本音で対峙する	よう子
フリクション簡単に消す遺言書	幸 男
記憶から消えてなくなり後がない	えいじ
夢の中消した残像まだ残り	基 弘
履歴書を黒字でたまに消してみる	充
消せそうで消せない過去は数えない	ミノル
消しそこね噂の炎に包まれる	義 雄
ミサイルの火事消す人よウクライナ	アキラ
秀 亡き人の笑顔が消えぬ夢の中	きよな
軸 邪魔者は消すだけ消して大将に	千 楽

お題「着物」(連記) 森里えいじ選

着ずじまいに終わりここまできた喪服	乃り子
即席の舞妓が京を闊歩する	よう子
着る事もなく捨てられもせぬ带着物	きよな
成人式何はともあれ着る着物	義 雄
20キロ十二単の裾めぐり	正 清
京の路地着物姿を追うカメラ	郁 子
タンスから母のなつかし着物臭	哲 子
何にもかも死装束の逆さかな	幸 男
かあさんの匂いがしてる黒羽織	広 子
タンスには着もせぬ物が場所を取り	充
始めての写真着物とおちよぼ口	基 弘
めだとうとパーティーにゆくながじゅばん	ちさと
着物には祖母も一枚噛んでいる	ミノル
着物から洋服生まれお出かけ着	登 美
大島を着るとますます父に似る	英 二
母の着物が化けていた給食費	千 楽
秀 妻は美にボクは値段に酔う着物	アキラ
軸 晴着きておすましの顔七五三	えいじ

お題「遠い」 互選 数字は票数

4 ザ戦争同じ地球にいる矛盾	哲 子
4 遠く来て西行の墓所山ざくら	正 清
5 新幹線出来て故郷遠くなる	英 二
5 訪れる人も遠退く墓の苔	よう子
5 遠くともきつと逝くから待つという	えいじ
5 耳遠くサギの電話もあきれ顔	ちさと
5 安全な日日まだ遠いウクライナ	登 美
6 初めてののおつかい子等は命がけ	乃り子
6 三合を空けて本音にまだ遠い	アキラ

7 秀 この先は会っておきたい人と会う	郁 子
7 秀 遠くまで付いて来た影雲が消す	基 弘

お題「領く」(共選) 水間 充選

晩節が自分にもきた今が旬	乃り子
不用意に領き共犯者となる	よう子
領けぬ同胞と言いいこの惨禍	郁 子
そうやへえ打つ相槌の冷ややかさ	幸 男
三才児おやつ欲しさにウンという	哲 子
見えないが領きながら打つメール	幸 男
首縦に振って苦労の五十年	アキラ
領けば君の瞳に灯がともる	義 雄
病人は首ふるだけで答出し	基 弘
領けど目では反対示してる	登 美
侵攻に世界で一人うなずいた	千 楽
のみ込みが早い消化の未解決	正 清
領いてからのドラマは自己責任	広 子
領きの早さを競うイエスマン	英 二
秀 目をみつめ確と領く手術台	えいじ
軸 とれるかなアイコンタクトわが妻に	充

お題「領く」(共選) 澤山よう子選

そうやへえ打つ相槌の冷ややかさ	幸 男
あいまいに領くクセが命取り	広 子
のみ込みが早い消化の未解決	正 清
首かしぐそんなもんだと妥協する	乃り子
首縦に振って苦労の五十年	アキラ
うすうすと知ってうなずく軽いうそ	正 清
領きは永遠の別れとなる対話	郁 子
ノーを言う勇氣は出ないボスの前	千 楽
新聞の悩み相談生きがいに	充
解ったふりの領く息子上の空	きよな
領けど目では反対示してる	登 美
晩節が自分にもきた今が旬	乃り子
うなずいてついうっかりの命とり	ちさと
告白にだまって首をたてにふる	ちさと
秀 社長訓示うなずく人は聞いてない	アキラ
軸 ライバルが領いている何ぞある	よう子

自由吟 八木哲子選

百年に不安かかえる赤ん坊	幸 男
医院には病院にない温もりが	義 雄
咲いて散る桜に学ぶ世の無常	アキラ
甘言な話にのった泥の舟	よう子
財布には診察券が大いばり	ちさと

ここから夫婦春秋ニューヨーク	英二
訳ありを買ってその訳知らされる	義雄
欲のプールわざと空気を抜くうきわ	ちさと
権力がウソをホントにする恐さ	郁子
くつしたの穴を膝った昭和の子	広子
歩いては機嫌伺う膝小僧	えいじ
政策よりアメばかり出す選挙前	充
反戦の名画ひまわり悲しすぎ	よう子
歎異抄読む流行に遅れぬ様	乃り子
秀 戦禍の子母はピエタの哀しみに	郁子
軸 はんなりと御室桜に揺れる人	哲子

私の推薦句 田中 薫選	*4月句会優秀句より
消せそうで消せない過去は数えない	ミノル
亡き人の笑顔が消えぬ夢の中	きよな
大島を着るとますます父に似る	英二
侵攻に世界で一人うなずいた	千楽
うすうすと知ってうなずく軽いうそ	正清
頷きは永遠の別れとなる対話	郁子
晩節が自分にも来た今が旬	乃り子
医院には病院にない温もりが	義雄
反戦の名画ひまわり悲しすぎ	よう子
戦禍の子母はピエタの哀しみに	郁子
薫評 佳句揃いで圧倒されました。課題を見ないで深い句を選ばしていただきました。題に添い過ぎる	
と浅くなる傾向がありますし、同想句になりやすくなります。	

私の推薦句 奥村義雄選	*4月句会優秀句より
消しゴムで消せぬ古傷悔やむ日々	乃り子
着物には祖母も一枚噛んでくる	ミノル
晴れ着きておすましの顔七五三	えいじ
訪れる人も遠退く墓の苔	よう子
三合を空けて本音にまだ遠い	アキラ
三才児おやつ欲しさにウンという	哲子
侵攻に世界で一人うなずいた	千楽
頷いてからのドラマは自己責任	広子
財布には診察券が大いばり	ちさと
戦禍の子母はピエタの哀しみに	郁子

五月事前投句句会兼昼食会

事前投句 五月十三日十五時締め 各二句

「トホホ」(互選) 「枕」(連記) 幸男

「温い」薫 「覗く」(共選) きよな 英二

「自由吟」広子 アキラまでメールまたは封書

五月十六日(月) いきいきホール2F

十二時三十分 開場

問合せ

原 広子(79・0061)

野々村詮(090・6961・1292)